

2022 中小春季生活闘争未解決組合を支援する特別決議

本日、第 93 回メーデー阿南那賀海部集会に「一人ひとりが尊重される 多様性を認め合う社会をめざし みんなが輝く未来をつくろう！」のスローガンのもと、コロナ禍であっても連合徳島の構成組織が一丸となり、2022 春季生活闘争の勝利に向けて闘う重要性を再確認することができた。

現在、すべての組合は要求に沿った回答引き出しを目指し、精力的に交渉を進めている。わが国は 20 年以上にわたるデフレ経済から抜け出せない中でコロナ禍が直撃し、多くの働く仲間が深刻な影響を受けている。この現状を私たち労働組合が、けん引役となって変えていかなければならない。そのためには、経済の後追いではなく、経済・社会の活力の原動力となる「人への投資」を何としても実現する必要がある。

あわせて、「働くことを軸とする安心社会」を構築し、将来への不安を払拭することができるよう、私たちの求める政策・制度の実現に向けた取り組みを強力に推進していく。

2022 春季生活闘争第 4 回回答集計結果（4 月 12 日）で、平均賃金方式で回答を引き出した 2,727 組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で 6,257 円・2.11%で昨年同時期を上回り、賃上げ分が明確に分かる 1,562 組合の「賃上げ分」は 1,857 円・0.62%ですべての規模区分で昨年同時期を上回った。うち 300 人未満の中小組合についても額・率とも集計時点で「賃上げ分」の集計を開始した 2015 年闘争以降で最も高い。「賃上げの流れ」を引き継ぎ「人への投資」と月例賃金にこだわり「働きの価値に見合った賃金水準」を意識し粘り強い交渉を行った結果と受け止める。

労使は社会的責任を果たすため、今こそ答えを出す時である。

すべての労働者への「人への投資」こそが、職場の、企業の、そして日本の「未来をつくる。みんなでつくる。」この断固たる決意をもって、構成組織、各労働組合から職場組合員に至るまで組織の総力を結集し、未解決組合の 2022 春季生活闘争の早期決着に向けて闘い抜く。

以上、決議する。

2022年 5月 1日
第 93 回メーデー阿南那賀海部地区集会